

經濟交流

I 組織と事務分掌

事務分掌	
商工観光課	<ol style="list-style-type: none"> (1) 経済交流部の行政に関し調整を行うこと。 (2) 商業及びサービス業の振興に関すること。 (3) 中小企業の育成に関すること。 (4) 観光及び物産の振興に関すること。 (5) 貿易の振興に関すること。 (6) 電気用品安全法に基づく報告の徴収及び立入検査又は質問の実施に関すること。 (7) いこいの森たかき、結の浜マリパーク、物産ホール及び諫早駅自由通路に関すること。 (8) 西九州新幹線に関すること（建設部の所掌に属するものを除く。） (9) 前各号に掲げるもののほか、経済交流部の事務で他課の所掌に属しないもの。
企業誘致課	<ol style="list-style-type: none"> (1) 企業の誘致に関すること。 (2) 工業の振興に関すること。 (3) 工場等の設置奨励に関すること。 (4) 高城会館、つくば倶楽部、勤労者福祉会館及び中核工業団地工業振興会館に関すること。 (5) 諫早市新産業団地整備計画に基づく産業団地の整備その他の産業基盤の整備及び管理に関すること（他部の所掌に属するものを除く。）。 (6) 労働福祉及び雇用対策に関すること。 (7) シルバー人材センターに関すること。
文化振興課	<ol style="list-style-type: none"> (1) 文化芸術活動の振興に関すること。 (2) 伝統文化に関すること。 (3) 文化関係団体に関すること。 (4) 文化情報の収集及び提供に関すること。 (5) 文化会館、郷土資料館及びいいもりコミュニティ会館に関すること。 (6) 文化施設の設置、管理及び廃止に関すること。 (7) 文化財の保護に関すること。
美術・歴史館	<ol style="list-style-type: none"> (1) 資料の収集、保管、修復及び展示等に関すること (2) 資料に関する調査研究及びその成果等の公表に関すること (3) 市民による美術作品等の発表の機会の提供等に関すること (4) 他の施設との連携等に関すること
スポーツ振興課	<ol style="list-style-type: none"> (1) スポーツの普及及び振興に関すること。 (2) 社会体育の振興に関すること。 (3) 体育関係団体の指導育成に関すること。 (4) 体育施設の設置、管理及び廃止に関すること。

Ⅱ 概況

経済交流部は4課、1館で構成され、商業の振興、観光・物産の振興、企業誘致、文化芸術活動の振興、スポーツの普及及び振興などに関する事項を担当しています。

《商業・中小企業》

1 商業・中小企業の概況

(1) 現況

本市の主な商業集積としては、市役所周辺のアエル中央商店街と JR 諫早駅前の永昌東町商店街があり、それぞれ商業活性化の取組が進められています。

本市の中小企業を取りまく環境は、国内外の経済状況の変化による物価高騰や人材不足などにより、先行きが見通しにくい状況にあります。このため、中小企業への経営指導や施策、制度の普及を促進することにより、経営の安定と健全な発展を図る必要があります。

(2) 重点施策

このような現状を踏まえ、魅力あるまちづくりのための各種ソフト事業を支援するとともに、中小企業の経営安定や資金力の強化など、商工団体等への支援を行います。

2 商業の振興施策

(1) 諫早市中心市街地活性化の推進

○まちなか活性化支援事業

第2期諫早市中心市街地活性化基本計画に基づき取り組んできた内容を踏まえ、地域商業の活性化推進について検討を行う取組及び商業活性化のため諸事業を支援

・補助対象者：諫早商工会議所

(2) 商業環境の整備

○商店街まちづくり協定支援事業

「商店街まちづくり協定」に基づく商店街内の店舗の改善等建築に係る調査設計又は工事を支援

・補助対象者

- a 商店街まちづくり協定を締結している者
- b 協定締結区域内の事業協同組合又は協同組合連合会

・補助額

工事費の場合、補助対象経費の1/3 以内で上限100万円

〈補助実績〉 (単位:件)

	R4年度	R5年度	R6年度
補助件数	1	2	0

(3) 商業活力の再生

① 中心市街地夏祭り支援事業

中心市街地内で実施される商店街活性化のための夏祭りを支援

・補助対象者：諫早商工会議所

	R4年度	R5年度	R6年度
アエル中央商店街夏祭り	約10,000人	約50,000人	約50,000人
八坂共栄会ぎおん祭り	中止	約2,000人	約2,000人
諫早駅前お茶の間通り商店街まつり	中止	約2,400人	約5,000人
天満町商工振興まつり	中止	約1,500人	約1,500人

② 賑わい創出イベント支援事業

中心市街地内の商店街等が実施する文化性、地域性又は市民の交流の場となる要素を持つ市民参加型イベントや定期的に実施する継続型イベント等の開催を支援

・補助対象者：事業協同組合、協同組合連合会

来場者数(推計)

	R4年度	R5年度	R6年度
お茶の間通りおもてなし事業	約4,500人	約4,500人	約4,500人
アエルマルシェ事業	—	—	約17,000人
いさはや灯りファンタジア	約18,000人	約15,000人	約18,000人

③ 市民まちづくり活動支援事業

コミュニティの再生を行うと共に、今後のまちづくりを担う人材を養成し、中心市街地の活性化を図るため、諫早市中心市街地商店街協同組合連合会が「アエルいさはや」に整備した「まちづくり研究室」、「まちづくり生涯学習室」を借り上げ、運営を鎮西学院大学に委託

して、市民のまちづくり活動の拠点として提供

・施設所在地：諫早市本町 3-11(アエルいさはや2階)

・施設面積：114.0㎡(34.5坪)

〈利用実績〉 (単位：人)

	R4年度	R5年度	R6年度
利用申込者数	2,749	2,786	2,887

3 中小企業の振興施策

(1) 制度融資

融資の円滑化により市経済の活性化を図るため、市内中小企業者等を対象に、事業経営に必要な運転資金や設備資金又は創業時に必要となる資金について、金融機関と連携して融資事業を行っています。

制度内容(R7年4月1日現在)

資金名	融資対象者の主な条件	資金の使途・融資限度額	貸付期間(据置期間)	貸付利率	保証料率	金融機関協調倍率
中小企業振興資金	①市内に1年以上住所を有していること ②市内で1年以上継続して事業を営んでいること ③市税等に滞納がないこと ④信用保証協会の保証対象業種であること	運転・設備 2,500万円	10年以内 (1年以内)	1.4%	0.45～ 1.9% (※1)	2.4倍
中小企業創業支援資金	①市内に住所を有していること ②市内で新たに創業しようとする、または市内で創業後5年未満であること ③市税等に滞納がないこと ④信用保証協会の保証対象業種であること	運転・設備 2,000万円	運転7年以内 (1年以内) 設備10年以内 (1年以内)	1.3% (※2)	0.8% (※3)	2.4倍

【取扱金融機関】

十八親和銀行・西日本シティ銀行・長崎銀行・たちばな信用金庫・九州ひぜん信用金庫

(※1)保証料の一部(最大0.55%)を市が補給します。

(※2)融資を受けた日から3年間、利子額の2分の1を市が補給します。

(※3)保証料の全額を市が補給します。

中小企業振興資金預託状況・実行状況

(単位：千円)

		R4年度	R5年度	R6年度
預託額		1,030,000	1,023,000	965,000
融資枠		2,472,000	2,455,200	2,316,000
年度未融資残高	件数	385	349	341
	金額	1,414,027	1,244,143	1,324,714
新規融資	件数	75	63	78
	金額	458,330	350,171	517,584
返済	完済件数	134	99	86
	返済総額	579,906	520,055	437,013

(2) 指導機関への支援

諫早商工会議所や諫早市商工会が行う市内の中小企業者への指導体制の強化や、小規模事業者の経営・技術の改善のための事業の充実及び中小企業者が組織する協同組合等への指導の円滑な推進を図るため、以下の支援事業を実施しています。

事業名	内容
小規模事業者指導事業	小規模企業の経営の安定と健全な発展を図るために、諫早商工会議所や諫早市商工会が行う経営改善普及事業のために設置される経営指導員の人件費及び事業推進に必要な事務費等に対する補助

諫早商工会議所、諫早市商工会の会員数概要 (R7年3月31日現在)

(単位:人)

項 目	諫早商工会議所	諫早市商工会(※1)
設 立	S16.12.17	H29.10.1
総 会 員 数	2,244	808
小規模事業者数	3,141	1,203
商 工 業 者 数	4,057	1,554
組織率(※2)	55.3%	52.0%

(※1)多良見商工会と諫早市商工会が、平成29年10月1日に合併し、「諫早市商工会」が設立された。

(※2)組織率＝総会員数／商工業者数(四捨五入)

【参考】大規模小売店舗の出店状況(店舗面積 1,000㎡超)

R7年4月1日現在(大店立地法の届け出による)

No.	名称	所在地	店舗面積(㎡)	業態
1	オーケーコスモポリス	多良見町市布	11,631	専門店
2	ホームプラザナフコ諫早店	多良見町田	7,272	専門店
3	ホームプラザナフコ東諫早店	宗方町	7,123	専門店
4	ニトリ東諫早店	長野町	6,761	専門店
5	アクロスプラザ諫早	久山町	5,323	専門店
6	ニトリ諫早店	多良見町化屋	5,176	専門店
7	HIヒロセスーパーコンボ諫早バイパス店	栗面町	4,799	専門店
8	SD・G5・MF 諫早久山店	久山町	4,330	専門店
9	スーパーセンタートライアル諫早店	長野町	4,281	専門店
10	イオンタウン諫早西部台	大さこ町	3,825	スーパー外
11	エディオン諫早店	長野町	3,448	専門店
12	ヤマダ電機テックランド諫早店	仲沖町	3,330	専門店
13	ファッションモール森山店	森山町杉谷	3,312	専門店
14	ケーズデンキ諫早店	長野町	2,650	専門店
15	マックスバリュ諫早中央店	野中町	2,420	スーパー外
16	サンキ諫早店	野中町	2,249	専門店
17	ヒマヤ諫早店	長野町	2,055	専門店
18	まるたか生鮮市場幸町店	幸町	1,881	スーパー外
19	ダイレックス西諫早店	貝津町	1,768	専門店
20	まるたか生鮮市場多良見店	多良見町田	1,746	スーパー外
21	ダイレックス諫早幸町店	幸町	1,745	専門店
22	ドラッグコスモス多良見店	多良見町化屋	1,717	専門店
23	ドラッグコスモス高来店	高来町溝口	1,653	専門店
24	スーパードラッグコスモス東諫早店	小豆崎町	1,606	専門店
25	ドラッグストアモリ高来店	高来町泉	1,541	専門店
26	ドラッグストアモリ東諫早店	福田町	1,530	専門店
27	コーポラティブマーケットアエルいさはや	本町	1,524	スーパー外
28	ジュー諫早店	小船越町	1,516	専門店
29	スーパードラッグコスモス諫早長野町店	長野町	1,496	専門店
30	なかよし村有喜店	松里町	1,495	スーパー外
31	ダイレックス東諫早店	小豆崎町	1,490	専門店
32	ドラッグコスモス諫早幸町店	幸町	1,472	専門店
33	ドラッグコスモス貝津店	貝津町	1,383	専門店
34	マルキョウ久山台店	久山台	1,320	スーパー外
35	ホームセンターユートク高来店	高来町峰	1,230	専門店
36	小林呉服店	栄町	1,141	専門店
37	八木ビルディング	栄町	1,097	専門店
合計面積			110,336	

《観光・物産》

1 観光・物産の概況

(1) 現況

本市は、長崎県の中央に位置し、3つの海と多良山系の山々、広大な干拓地など自然の恵みが豊かな地域です。また、多様な風土と文化を有し、県内交通結節点としての有利な位置にあります。

令和6年の観光客数は209万6,000人で、前年を下回る結果となりました。

この要因としては、ビジネス客の来訪が減少したことなどが考えられます。

(2) 重点施策

このような現状を踏まえ、観光物産の振興、まつりの支援、コンベンションの誘致及び所管する観光施設の適切な管理運営の整備を行うこととしています。

(3) 観光客数の状況

	R4年	R5年	R6年
観光客延数	1,886,018人	2,231,116人	2,096,328人
日帰り客数	1,159,938人	1,452,449人	1,382,819人
宿泊客延滞在数	726,080人	778,667人	713,509人
宿泊客実数	292,106人	319,603人	296,917人
延宿泊数	433,974人	459,064人	416,592人
平均宿泊数	1.49泊	1.44泊	1.40泊
観光客実数	1,452,044人	1,772,052人	1,679,736人
県内客	1,293,772人	1,578,899人	1,496,645人
県外客	158,272人	193,153人	183,091人

資料…長崎県観光統計

(4) 観光地点入込客トップ5

順位	R4年		R5年		R6年	
	観光地	集客数 (入込客実数)	観光地	集客数 (入込客実数)	観光地	集客数 (入込客実数)
1	白木峰高原	152,508人	のんのご温水センター	153,628人	のんのご温水センター	172,257人
2	山茶花高原ビクニックパーク・ハーブ園	121,993人	V・ファーレン長崎ホームゲーム	153,303人	山茶花高原ビクニックパーク・ハーブ園	155,538人
3	のんのご温水センター	118,586人	白木峰高原	146,805人	V・ファーレン長崎ホームゲーム	129,571人
4	V・ファーレン長崎ホームゲーム	106,280人	いいもり月の丘温泉	103,837人	いいもり月の丘温泉	117,529人
5	いいもり月の丘温泉	90,883人	山茶花高原ビクニックパーク・ハーブ園	94,654人	のんのご諫早まつり	100,000人

資料…長崎県観光統計

2 観光の振興施策

(1) 観光物産振興支援事業

観光振興並びに物産振興を推進する(一社)諫早観光物産コンベンション協会の事業を支援します。

(2) 観光情報発信事業

観光パンフレットの作成や食の総合サイトの活用、その他観光情報を発信することにより、観光客の誘致、交流人口の拡大を図ります。

(3) 宿泊観光促進事業

宿泊延人数に応じた助成を行うことで、市内に宿泊を伴うコンベンション等(会議・スポーツ大会・合宿等)の開催を促進し、交流人口の拡大、地域経済の活性化を図ります。

《助成金の内容》

	延べ宿泊人数	助成金額
～R4 年度	50人以上 100人未満	50,000円
	100人以上 150人未満	100,000円
	150人以上 200人未満	150,000円
	200人以上 250人未満	200,000円
	250人以上 300人未満	250,000円
	300人以上 500人未満	300,000円
	500人以上1,000人未満	500,000円
	1,000人以上～	1,000,000円
R5 年度～	30人以上	延べ宿泊人数× 1,000円 ※上限額 1,000千円

※R5 年度から制度改正を行ったもの。

《コンベンション等開催助成金利用実績》

年 度	R4年度	R5年度	R6年度
件 数	24件	35件	42件
延べ宿泊人数	9,708人	10,198人	10,685人

《助成団体別実績》

	R4年度	R5年度	R6 年度
1	ソフトボール 4	野 球 7	野 球 6
2	野 球 4	サッカー 4	陸 上 6
3	ハンドボール 3	陸 上 4	ソフトボール 5
4	研修会等 2	ハンドボール 3	ハンドボール 5
5	サッカー 2	バスケットボール 2	サッカー 4
6	陸 上 1	剣 道 2	総 会 等 3
7	ウェルフェア 1	ウェルフェア 2	マーチングバンド 2
8	ボーリング 1	総 会 1	ウェルフェア 2
9	バレーボール 1	ローイング 1	バレーボール 2
10	新 体 操 1	バレーボール 1	ボーリング 2
11	テ ニ ス 1	新 体 操 1	剣 道 2
12	ラグビーフットボール 1	柔 道 1	バドミントン 1
13	バドミントン 1	ボクシング 1	新 体 操 1
14	剣 道 1	バドミントン 1	ゴ ル フ 1
15	—	卓 球 1	
16	—	ソフトボール 1	
17	—	ボーリング 1	
計	13団体	35団体	42団体

(4) まつり開催事業

諫早の三大まつりである諫早つつじ祭り、諫早万灯川まつり、のんのこ諫早まつりを開催します。

① 諫早つつじ祭り

諫早公園一帯で開催する多くの市民から親しまれているお祭りです。昭和27年から開催され、半世紀以上の歴史があり、ヒラドツツジやクルメツツジなどの色鮮やかな花々を楽しむことができます。

(4月中旬 諫早市高城町 諫早公園一帯)

② 諫早万灯川まつり

諫早大水害(昭和32年7月25日)の水難者を追悼する祭りです。慰霊の思いを込め、本明川のほとりに約2万本の万灯を点し、2千発の花火を打ち上げます。(7月25日 諫早市高城町 本明川一帯)

③ のんのこ諫早まつり

諫早最大の市民総参加の祭りで、約4千人の市民が皿を打ち鳴らしながら、街を練り歩きます。リズムカルな「まつりのんのこ」や、市内各地に残る郷土の伝統芸能披露も行われます。

(9月中旬 諫早市東小路町 中央交流広場他)

《来客者数》

	R4年度	R5年度	R6年度
諫早つつじ祭り	夜間ライトアップ、 フォトコンテスト	約5,300人	約20,000人
諫早万灯川まつり	式典のみ	約50,000人	約50,000人
のんのこ諫早まつり	約30,000人	約100,000人	約100,000人

(5) 広域観光推進事業

近隣市町等と協議会を設置し、協力・連携により、共同事業の展開や共同広報活動など広域的に観光事業を展開することで、交流人口の拡大や広域的な観光振興を図ります。

名称	設立年月	構成団体
シュガーロード 連絡協議会	H20. 10	諫早市、長崎市、大 村市、嬉野市、小城 市、佐賀市、飯塚 市、北九州市、民間 団体
大村線沿線観光 活性化協議会	H22. 2	諫早市、長崎市、佐 世保市、大村市、長 与町、東彼杵町、川 棚町、九州旅客鉄 道(株)
歴史の道観光・文 化交流推進協議会	H28. 6	諫早市、佐賀県太 良町、諫早観光物 産コンベンション協 会、太良町観光協 会、民間団体

(6) 観光施設管理事業

所管する観光施設の管理運営を行います。

○轟峡

「轟峡」は、多良岳を源とする境川の上流にあり、大小30もの滝を有する渓谷で県下有数の自然に恵まれた景勝の地です。轟溪流は「名水百選」に選ばれ、虹をかけて流れ落ちる「楊流の滝」や水量が多く流れが豪快な「太龍の滝」など自然の宝庫です。また、周囲に広がる轟の森林も「水源の森百選」に選ばれています。

※令和2年7月豪雨による災害に伴い令和7年4月現在、キャンプ場等の施設利用を休止しています。

(諫早市高来町 JR 湯江駅から車で約15分)

○いこいの森たかき

テニスコートなどのスポーツ施設を備えているいこいの森たかきは、年齢・性別を問わず、気軽に楽しめるアウトドアスポットです。

また、保養施設であるいこいの村長崎は客室がすべて南向きで、木々の間を通り抜ける香りや風の音が心癒す安らぎの宿です。大浴場からは雲仙普賢岳、有明海、雲仙多良シーライン(干拓堤防道路)、遠くは天草までの大パノラマが広がります。

(諫早市高来町 JR 湯江駅から車で約15分)

○結の浜マリパーク

人口海水浴場としては、県内屈指の規模を誇ります。目の前にある2つの大きな島と霊峰雲仙、天草を望む景色は秀逸です。また、肌触りが優しいサラサラの砂と、透き通る海が調和し、美しい砂浜を作り出しています。

(諫早市飯盛町 JR 諫早駅から車で約30分)

3 物産の振興施策

地場産品普及促進事業

お中元・お歳暮時期に併せた物産展の開催や県外での物産 PR イベントの開催など、特産品の PR 活動を支援し、地場産品の普及促進による地域経済の活性化を図ります。

《主な特産品》

諫早おこし、いさはや楽焼うなぎ、すっぽん料理、清酒、小長井牡蠣、唐比れんこん、幻の高来そば、諫早アボカド、みかん、バレイショ、ニンジン、タマネギ など

《物産展事業実績》

(単位:円)

年度	R4年度	R5年度	R6年度
お中元	10,290,834	10,267,074	14,440,233
お歳暮	15,070,749	13,229,481	16,428,835
合計	25,361,583	23,496,555	30,869,068

《商品別売り上げトップ5》

お中元

		R5年度		R6年度
		売上額(千円)		売上額(千円)
1位	うなぎ加工品	2,531	うなぎ加工品	3,080
2位	ゼリー	1,374	ゼリー	2,038
3位	精肉	705	麺類	937
4位	蒲鉾	700	精肉	894
5位	果物(梨・メロン)	645	メロン	794

お歳暮

		R5年度		R6年度
		売上額(千円)		売上額(千円)
1位	みかん	3,246	みかん	2,398
2位	うなぎ加工品	1,301	肉加工品	2,076
3位	蒲鉾	1,187	うなぎ加工品	1,950
4位	精肉	1,042	蒲鉾	1,682
5位	麺類	568	水産加工品	1,459

4 物産施設の概要

○諫早市物産ホール

本市の観光及び物産の拠点施設として、平成9年に設置しました。館内には常設の地場産品展示コーナー、市民が幅広く利用できる多目的スペースがあります。

・場所: 諫早市高城町5番10号 商工会館1階

・開館時間: 午前9時～午後6時

・休館日: 毎週水曜日、12月29日～1月3日

《物産ホール利用状況》

年 度	R4年度	R5年度	R6年度
利用件数(件)	6	6	4
利用日数(日)	206	122	98
入館者数(人)	15,411	12,449	8,508
使用料(円)	660	11,310	11,310

○観光案内PRコーナー

本市来訪者への利便性向上のため、西九州新幹線整備に合わせて、諫早駅自由通路に開設し、観光地や交通機関、飲食店などの観光案内のほか、観光パンフレット提供や物産展示紹介などを行っています。

また、周辺地域の観光パンフレットなども提供しており、県央地域の情報発信拠点としての役割を担っています。

(諫早市永昌町 諫早駅自由通路3階)

5 新幹線整備事業

九州新幹線西九州ルートは、九州地区の一体的飛躍に大きく貢献する重要な交通軸であり、西九州地域の経済浮揚と地域発展には特に必要不可欠な整備路線です。

令和4年9月23日、長崎～武雄温泉間にフル規格の西九州新幹線が開業し、長崎～博多間の所要時間は、約30分短縮されました。現在、新鳥栖～武雄温泉間のフル規格による早期整備に向けて要望活動などを行っています。

○西九州新幹線の概要

- (1) 事業主体 独立行政法人
鉄道建設・運輸施設整備支援機構
- (2) 事業期間 平成20年度～令和7年度
(諫早・長崎間は平成24年度～)
- (3) 総工事費 約6,197億円
- (4) 費用負担 国:2/3 県:1/3
※県負担額の1/10を市が負担
協定に基づく市内負担対象区間3.37km
- (5) 線路延長 約66km(武雄温泉・長崎間)
- (6) 認可日 平成20年3月26日
(諫早・長崎間は平成24年6月29日認可)
- (7) 開業日 令和4年9月23日

○利用実績

期間	利用者数 (累計)	利用者数 (1日あたり)
開業1年目 (R4.9.23～ R5.9.22)	2,420千人	約6,600人
開業2年目 (R5.9.23～ R6.9.22)	2,537千人	約6,900人

■九州新幹線西九州ルートの現状図



《工業》

1 工業の概況

(1) 現況

本市の工業は、全国でも有数の規模を誇る諫早中核工業団地が昭和55年から分譲開始して以降、半導体、食料品、航空宇宙関連などの製造業を中心として大規模な企業の進出が相次ぎ、飛躍的な発展を遂げてきました。製造品出荷額等においては、2022年経済構造実態調査以降、2年連続で県内第1位となっています。令和3年6月から分譲を開始した南諫早産業団地は、令和6年10月で完売となりました。

今後さらなる産業振興及び良質な雇用の創出を図るため、令和9年度中の完成を目指し、諫早平山産業団地の整備に着手しました。

① 市内産業団地の概要(令和7年3月31日現在)

	諫早貝津工場団地	山の手工業団地	諫早中核工業団地	諫早流通産業団地	西諫早産業団地	南諫早産業団地	合計
総面積	約14ha	約15ha	約226ha	約12ha	約12ha	約37ha	約316ha
分譲面積	約13ha	約10ha	約101ha	約8ha	約10ha	約20ha	約162ha
分譲開始 (進出時期)	昭和38年	昭和48年	昭和55年	平成21年	平成26年	令和3年	
立地企業数	7社	30社	144社	12社	16社	4社	213社
分譲率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
就業者数	約700人	約700人	約8,500人	約500人	約500人	約1,400人 見込	約12,300人 見込

② 市内産業別一覧(従業者数4人以上の事業所)

	事業所数			従業員数(人)			製造品出荷額等(万円)		
	(※3) R3年	(※3) R4年	(※4) R5年	(※3) R3年	(※3) R4年	(※4) R5年	(※3) R2年	(※3) R3年	(※4) R4年
食料品製造業	27	27	30	3,123	3,130	3,032	8,615,250	8,363,798	8,854,048
飲料・たばこ・飼料製造業	4	4	7	92	92	97	245,836	197,737	290,471
繊維工業	6	6	7	151	135	133	243,880	227,533	186,444
木材・木製品製造業(家具除く)	3	4	5	52	65	67	163,574	248,242	276,603
家具・装備品製造業	3	3	5	39	39	40	55,793	65,275	59,318
パルプ・紙・紙加工品製造業	1	1	1	16	17	17	×(秘匿)	×(秘匿)	×(秘匿)
印刷・同関連業	6	6	6	207	191	187	228,517	226,319	229,159
化学工業	4	3	5	119	97	83	509,795	464,760	397,468
プラスチック製品製造業	2	2	2	83	80	81	×(秘匿)	×(秘匿)	×(秘匿)
窯業・土石製品製造業	11	12	12	112	144	145	340,448	412,367	391,565
鉄鋼業	5	6	6	168	201	204	624,179	1,008,030	1,129,733
金属製品製造業	25	27	28	705	785	784	1,100,295	1,229,117	1,292,578
はん用機械器具製造業	8	8	8	303	295	293	435,582	398,294	372,695
生産用機械器具製造業	9	7	7	362	325	354	849,708	645,550	834,608
業務用機械器具製造業	2	2	2	475	344	337	×(秘匿)	×(秘匿)	×(秘匿)
電子部品・デバイス等製造業	4	5	5	3,505	3,838	4,324	23,330,749	22,687,455	24,241,020
電気機械器具製造業	7	8	8	173	180	180	261,764	331,861	333,970
輸送用機械器具製造業	6	6	6	341	394	362	537,495	623,768	633,234
その他の製造業	10	12	15	67	131	138	194,037	285,832	306,527
合計	143	149	165	10,093	10,483	10,858	41,401,076	41,803,632	44,224,214

※資料…※1:R3 及び R4 は従業者数4人以上の事業所、R5 は全ての事業所

※2:R2 及び R3 は従業者数4人以上の事業所、R4 は全ての事業所

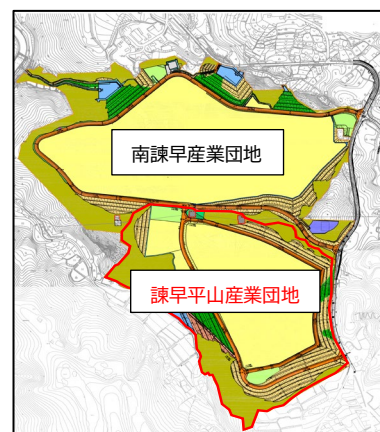
※3:経済センサスー活動調査 製造業(地域別統計表データ) 3.市区町村別統計表(産業中分類別)

※4:経済構造実態調査 製造業事業所調査(地域別統計表データ)市町別・産業別統計表

(2) 重点施策

工場等設置奨励制度により地場企業の規模拡大等を支援するとともに、新たな産業団地を整備し企業誘致を推進することにより、雇用の場の創出と地域経済の活性化を図ります。

諫早平山産業団地の概要
 ・整備期間・・・R5～R9 年度
 ・分譲予定面積・・・約 12ha
 ・分譲開始時期・・・R10 年度(予定)



2 工業の振興施策

(1) 企業誘致推進事業

国・県等の関係機関と連携して市内への企業誘致を推進するとともに、民間の空き工場及び工場適地等の把握に努め、インターネット等による情報発信に取り組んでいます。

また、本市の優れた立地条件を活用し、県等と協力して新たな産業団地の整備を推進するなど、企業誘致の受け皿づくりに努めます。

(2) 工場等の設置奨励制度

市内への工場等の新・増設を促進するため、次の奨励制度を設けています。

◆固定資産税の課税免除制度(産業団地等に関するもの)

地域未来投資促進法に基づく課税免除

対象地区	対象業種	対象資産	要件		適用措置
			新規雇用者	投下固定資産額	
市内全域 (鳥獣保護区特別保護地区を除く)	①成長ものづくり分野 ②食品関連産業分野 ③観光・スポーツ・文化・まちづくり関連分野 ④環境・エネルギー関連分野 ⑤第4次産業革命関連分野	土地、家屋、償却資産(構築物のみ)	雇用要件なし	土地・家屋・構築物の取得価額の合計が1億円超(農林水産関連業種は5千万円超)	固定資産税の課税免除(3年間) 限度額なし

※本制度の適用を受けるには、対象となる資産の取得前(家屋は着工前)に事業計画を作成し、県知事の承認を受けるとともに、事業の先進性について国(関係官庁)の確認を受ける必要があります。

企業誘致促進地区における課税免除・不均一課税(市独自)

対象地区	対象業種	対象資産	要件		適用措置
			新規雇用者	投下固定資産額	
企業誘致促進地区 ・諫早中核工業団地 ・諫早貝津工場団地 ・山の手工業団地 ・諫早流通産業団地 ・西諫早産業団地 ・南諫早産業団地	製造業(電気業・ガス業含む)、情報通信業、情報通信技術利用業(コールセンターなど)、運輸業、卸売業、自然科学研究所	土地、家屋、償却資産(機械・装置のみ)	雇用要件なし	減価償却資産の取得価額の合計が3千万円超	固定資産税の課税免除(3年間) 1. 新設・増設：全額課税免除(限度額なし) 2. 既存設備の更新等：75%課税、25%課税免除(限度額なし)

◆奨励金の交付制度

工場等設置奨励条例に基づく奨励金(市独自)

対象地区	対象業種	対象資産	要件		適用措置
			新規雇用者	投下固定資産額	
企業誘致促進地区以外の地区(鳥獣保護区特別保護地区を除く)	製造業(電気業・ガス業含む)、情報通信業、情報通信技術利用業(コールセンターなど)、運輸業、卸売業、自然科学研究所	土地、家屋、償却資産(機械・装置のみ)	市内立地後5年以上の場合 新規雇用者5人以上	減価償却資産の取得価額の合計が3千万円超	固定資産税相当額を交付(3年間) (限度額:2千5百万円/年度)
			市内立地後5年未満の場合 新規雇用者10人以上		

※新規雇用者は、雇用保険の一般被保険者に限ります。

工場等設置奨励条例に基づく特別奨励措置(市独自)

対象地区	対象業種	要件	奨励の種類	内容	限度額
企業誘致促進地区 ・諫早中核工業団地 ・諫早貝津工場団地 ・山の手工業団地 ・諫早流通産業団地 ・西諫早産業団地 ・南諫早産業団地	製造業(電気業・ガス業含む)	〈ケース1〉 ①投下固定資産総額 3億円超 ②新規雇用者数(正規雇用者) ※市外居住者を含む 新設の場合 15人以上 増設の場合 10人以上 ①と②をいずれも満たすこと	土地取得奨励金	土地取得価額と固定資産評価額のいずれか低い額×50%(事業用部分のみ)	1億円
			雇用奨励金	本市居住者を1年以上雇用50万円/1人(正規雇用者)	3千万円
		〈ケース2〉 ①投下固定資産総額 10億円超 ②新規雇用者数(正規雇用者) ※市外居住者を含む 新設の場合 50人以上 増設の場合 30人以上 ①と②をいずれも満たすこと	土地取得奨励金	土地取得価額と固定資産評価額のいずれか低い額×50%(事業用部分のみ)	3億円
			雇用奨励金	本市居住者を1年以上雇用50万円/1人(正規雇用者)	1億円

※正規雇用者とは、雇用期間の定めのない雇用であって、1週間の所定労働時間が通常の労働者と同程度である労働契約を締結し、雇用保険の一般被保険者(ただし、1週間の所定労働時間が30時間未満のものを除く。)として雇用される方とします。

(3) 工業用水の供給状況

諫早中核工業団地に工業用水を供給しています。

〈工業用水道事業の概要〉

○給水事業所 6事業所

○計画給水量 22,500m³/日

○契約水量 15,000m³/日

(令和7年3月末現在)

(4) 諫早中核工業団地工業振興会館

(本市工業の情報発信など)

諫早中核工業団地内に設置している諫早中核工業団地工業振興会館において、工業に関する資料及び工業製品等の展示・情報発信を行うことにより、市民

の工業に関する理解を深めるとともに、工業の振興及び活性化の促進に努めます。

〈諫早中核工業団地工業振興会館の概要〉

○所在地 諫早市津久葉町5番地49

○敷地面積 4,570.02m²

○延床面積 287.91m²

展示室 104.83m²

オリエンテーションルーム 39.22m²

事務室他 143.86m²

○構造 木造平屋建

○竣工 平成9年3月28日

○利用状況

	R4年度	R5年度	R6年度
利用状況	2,722人	2,556人	2,279人

《労働・雇用》

1 労働・雇用の概況

(1) 現況

諫早公共職業安定所管内における令和7年4月の有効求人倍率は1.12倍となっております。令和2年5月から9月までの有効求人倍率が1.00倍を下回りましたが、令和2年10月に1.01倍となり令和7年4月までの55か月連続で1.00倍を上回っている状況です。

国際情勢や原材料等の高騰による経済や企業活動への影響があるため、引き続き、職場環境の改善をはじめとする労働者福祉対策、技術者・技能者等の人材育成・確保対策などの総合的な施策の推進が求められています。

(2) 重点施策

新規学卒者の市内就職や U・I・J ターン等の促進、男女雇用機会均等の推進、中高年齢者及び障がい者の就業の場の確保と拡大など、労働福祉対策を関係各機関と連携を図りながら推進します。

(3) 雇用の動向(諫早公共職業安定所管内)

区分	R4年度	R5年度	R6年度
有効求人数	50,988人	47,673人	44,083人
有効求職数	36,700人	37,644人	36,189人
就職数	3,164人	3,206人	3,053人
有効求人倍率	1.39倍	1.27倍	1.22倍

《就職内定状況》

区分		R4年度	R5年度	R6年度
高卒新規	長崎県	99.1%	98.6%	98.1%
	諫早市	99.3%	99.6%	98.3%
大卒新規	長崎県	96.6%	96.4%	97.7%

2 勤労者福祉の推進施策

(1) 人材確保対策事業

人材の育成、確保、定着等の事業を行う団体を支援します。

- ① 職業訓練法人 長崎県央職業訓練協会
- ② 諫早雇用・労務協議会

③ いさはやコンピュータ・カレッジ

高度情報化社会の到来による情報処理関連技術者の不足に対処するために設置した情報処理技能者養成施設で、多くの情報処理関連技術者を育成することにより、地域への人材確保と情報化を促進します。(平成23年3月に独立行政法人雇用・能力開発機構から諫早市に譲渡)

○所在地 諫早市津久葉町5番地119
(諫早中核工業団地内)

○敷地面積 5,175.77㎡

○延床面積 2,182.38㎡

○構造 鉄骨コンクリート造 4階建

○竣工 昭和63年8月26日

○運営主体 職業訓練法人 西九州情報処理開発財団

区分	R4年度	R5年度	R6年度
入学者数	82人	81人	59人
卒業者数	63人	70人	69人
就職率	98.3%	98.6%	100.0%

(2) 勤労者福祉施設管理事業

勤労者の福利厚生施設として設置した下記の施設の管理運営を行います。

① 諫早市勤労者福祉会館

勤労者と市民の文化教養などの向上と勤労意欲増進のための憩いの場として建設

○所在地 諫早市宇都町30番30号

○敷地面積 2,069.96㎡

○延床面積 本館577.65㎡ 別館259.38㎡

○構造 鉄骨造 2階建

○竣工 本館(昭和46年4月)

別館(昭和52年3月)

《諫早市勤労者福祉会館利用状況》

区分	R4年度	R5年度	R6年度
利用人数	11,769人	12,899人	12,594人
使用料	1,679,800円	1,790,860円	1,728,060円

② 高城会館

緑に覆われた上山公園の地に、県央地域の勤労者が働く喜びと明日への開拓精神を育む“憩い、学び、交流交歓の場”として建設

(平成15年6月に独立行政法人雇用・能力開発機構

の持分を全て諫早市が購入)

○所在地 諫早市高城町5番25号

○敷地面積 1,304.40㎡

○延床面積 1,984.09㎡

○構造 鉄骨コンクリート造 5階建

○竣工 昭和60年3月5日

《高城会館利用状況》

区分	R4年度	R5年度	R6年度
利用人数	23,388人	31,461人	37,611人
使用料	2,318,210円	2,939,060円	3,570,450円

③ つくば倶楽部

勤労者の福祉の向上を図るため、憩い、学び、交流することを目的に建設(平成15年6月に独立行政法人雇用・能力開発機構から諫早市が購入)

○所在地 諫早市津久葉町5番地115

(諫早中核工業団地内)

○敷地面積 2,500㎡

○延床面積 1,227.05㎡

○構造 鉄骨コンクリート造 2階建

○竣工 昭和63年10月24日

区分	R4年度	R5年度	R6年度
利用人数	49,455人	55,072人	46,456人
使用料	4,022,510円	4,245,960円	4,106,810円

《文化振興》

(1) 主な事業

① 諫早文化会館芸術鑑賞会支援事業

優れた芸術・芸能の鑑賞機会を市民に広めていくため、市民主体で企画運営し、諫早文化会館で開催される芸術鑑賞会を支援し、市民文化の振興と潤いのあるまちづくりを目指します。

・音楽、舞踊、演劇、伝統芸能などの公演を年に数回実施

② 地域の芸術環境づくり推進事業

地方都市にありながら市民主導の交響楽団を有する特性を生かし、地域・世代・分野を超えた文化交流を目的とする交流演奏会や訪問演奏会の開催を支援し、心豊かな生活と活力のある社会の実現、潤いのあるまちづくりを目指します。

・諫早交響楽団定期演奏会

・ふれあいコンサート:市内の会場で実施する観客参加型のコンサート

・スクールコンサート:市内小中学校へ訪問演奏

③ こどもゆめ広場開催支援事業

市内で活動する人形劇団3団体による人形劇の公演を支援し、未来を担う子どもたちが、人形劇、紙芝

居などを楽しく鑑賞し体験することで、想像力と豊かな感性を育むことを目指します。

・市内の保育園などへの訪問にて開催(年に6公演程度)

④ 六段の調祭典開催支援事業

本市が八橋検校作曲の箏曲「六段の調」発祥の地であることのPRとあわせ、箏曲の普及・継承を目的に開催される六段の調祭典を支援し、伝統文化の継承を図ります。

・開催時期:10月

⑤ 市川森一記念文化講演会開催事業

郷土が生んだ脚本家・市川森一の偉大な功績を称え後世に伝えるため、その名を冠した講演会を開催します。

・開催時期:11月

⑥ 諫早市芸術文化連盟活動支援事業

市民の文化活動の中核となる諫早市芸術文化連盟及び各地域文化協会の活動を支援し、市民文化の振興を図ります。

A 諫早を代表する文化人の功績を称え、後世に伝え

る顕彰事業の実施

a 菖蒲忌(芥川賞作家 野呂邦暢)

期日 5月最終日曜日

場所 諫早市美術・歴史館

b 尾花忌(書家 廣津雲仙)

期日 秋分の日

場所 諫早市美術・歴史館

c 森一忌(脚本家 市川森一)

期日 11月最終土曜日

場所 諫早図書館

d ミモザ忌(画家 野口彌太郎)

期日 春分の日

場所 諫早市美術・歴史館

e 菜の花忌(詩人 伊東静雄)

期日 3月最終日曜日

場所 諫早市美術・歴史館

B 諫早を代表するような文学者の輩出を願い、諫早

市中学生・高校生文芸コンクールの実施

C 「諫早文化」等機関誌の発行や文化情報の発信

D 文化祭、芸能大会の開催

⑦ 伊東静雄顕彰事業

郷土の詩人・伊東静雄の名を冠した賞を設け、広く全国から現代詩を公募し、優れた作品に賞を贈ることにより、伊東静雄の顕彰とあわせ、「文化のまち・諫早」をPRします。

・公募内容:未発表の現代詩

・公募期間:4月～8月

・選考及び発表:11月

・賞:伊東静雄賞1編または奨励賞2編

(令和6年度伊東静雄賞)

応募数908編

伊東静雄賞 熊倉省三『海彦』

(2) 文化施設

施設名・位置	規模	機能	付帯施設等	利用人数(人)	
				R5年度	R6年度
諫早文化会館 宇都町9番2号	鉄筋コンクリート造 地上3階 地下1階 敷地面積:25,441 m ² 建築面積:4,114 m ² 延床面積:5,769 m ² 大ホール:間口18m、奥行14m、高さ7.2m 中ホール:間口10.8m、奥行6.6m、高さ4.95m	大ホール(固定席:1,035席、車椅子用スペース:6席) ・吊物:電動式と手動式による 絨帳、幕類、反射板、松羽目 ・オーケストラピット ・調光室、音調室 中ホール(平床可動席) ・吊物:電動式と手動式による 絨帳、幕類、反射板、松羽目 ・映写室	リハーサル室 展示ホール 楽屋4 楽屋事務室 練習室3 展示室4 和室 食堂 駐車場323台	100,170	0 ※R6年度 休館
諫早市いいもり コミュニティ会館 飯盛町開1677番地1	会館:鉄筋コンクリート造3階 車庫:鉄骨造平屋建 敷地面積:8,921 m ² 延床面積:2,613 m ² (会館:2,489m ² 、 車庫:125 m ²) コミュニティホール: 間口11.5m、奥行6m	コミュニティホール (電動234席、固定226席、 移動40席)	リハーサル室 楽屋2 会議室 和室2 展示室3 駐車場140台	18,225	25,184
諫早市森山郷土 資料館 森山町慶師野1063番地	鉄筋コンクリート造 (一部木造)平屋建 延床面積:289m ²	展示室	事務室 作業室・ 収蔵室	219	124

(3) 使用料

① 諫早文化会館

区分	利用区分		午前 9時～12時	午後 13時～17時	夜間 18時～22時	全日 9時～22時
	名称及び室名					
基本利用料金	大ホール	平日	15,710円	20,950円	26,190円	62,850円
		土、日、休日	18,860円	23,050円	31,420円	73,330円
	中ホール	平日	3,140円	4,190円	5,240円	12,570円
		土、日、休日	4,190円	5,240円	6,280円	15,710円
	リハーサル室		1,050円	1,570円	2,090円	4,710円
	展示ホール		1,360円	1,890円	2,410円	5,660円
	楽屋1		420円	520円	630円	1,570円
	楽屋2		520円	630円	730円	1,880円
	楽屋3		730円	840円	940円	2,510円
	楽屋4		420円	520円	630円	1,570円
	楽屋事務室		210円	310円	420円	940円
	練習室1		1,050円	1,570円	2,090円	4,710円
	練習室2		840円	1,260円	1,670円	3,770円
	練習室3		730円	1,050円	1,360円	3,140円
	展示室1		940円	1,360円	1,680円	3,980円
	展示室2		940円	1,360円	1,680円	3,980円
	展示室3		1,050円	1,570円	2,090円	4,710円
	展示室4		1,260円	1,890円	2,510円	5,660円
	和室		1,050円	1,570円	2,090円	4,710円
	浴室		1回につき520円			
附属設備、備品等			午前、午後若しくは夜間又は全日の区分ごとの単位につき、 10,480円以内で規則で定める額			
割増等利用料金	1 利用者が入場料又はこれに類する費用等を徴収して利用する場合は、次の各号に定める割合で算定した額を加算する。この場合、入場料の額が2種類以上定められている場合は、その最高額を基準として算定する。 (1) 500円以上1,000円未満 5割 (2) 1,000円以上2,000円未満 8割 (3) 2,000円以上 10割 2 入場料を徴収しないが商品の宣伝、展示即売等営利を目的として利用する場合の利用料金は、基本利用料金の10割を加算した額 3 利用目的の練習、準備等のために舞台のみを使用する場合の利用料金は、基本利用料金の5割に相当する額 4 冷暖房を使用した場合は、基本利用料金に6割を加算した額 5 利用時間を超過し、又は繰り上げて利用する場合は、1時間につき当該利用区分に係る基本利用料金(設備使用及び冷暖房料を含む。)の額の3割に相当する額					

備考 1 楽屋の利用は、大ホール及び中ホール利用に関連する場合に限る。

2 基本利用料金の土、日、休日とは、土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)で定める休日をいう。

② 諫早市いいもりコミュニティ会館

区分	使用区分		午前 9時～12時	午後 13時～17時	夜間 18時～22時	全日 9時～22時
	名称及び室名					
基本使用料	コミュニティ ホール	平日	8,380円	11,110円	14,250円	33,730円
		土、日、休日	10,060円	13,310円	17,080円	40,440円
	リハーサル室		420円	630円	840円	1,890円
	楽屋1		310円	420円	520円	1,260円
	楽屋2		420円	520円	630円	1,570円
	会議室		630円	840円	840円	2,310円
	和室1		1,050円	1,360円	1,570円	3,980円
	和室2		630円	840円	840円	2,310円
	展示室1		1,360円	1,890円	2,100円	5,340円
	展示室2		840円	1,150円	1,470円	3,460円
	展示室3		940円	1,360円	1,570円	3,880円
附属設備、備品等			午前、午後若しくは夜間又は全日の区分ごとの単位につき、 10,480円以内で規則で定める額			
割増等使用料	1 使用者が入場料又はこれに類する費用等を徴収して使用する場合は、基本使用料に次の各号に定める割合で算定した額を加算した額。この場合、入場料の額が2種類以上定められている場合は、その最高額を基準として算定する。 (1) 500円以上1,000円未満 5割 (2) 1,000円以上2,000円未満 8割 (3) 2,000円以上 10割 2 入場料を徴収しないが商品の宣伝、展示即売等営利を目的として利用する場合の使用料は、基本使用料に10割を加算した額 3 使用目的の練習、準備等のために舞台のみを使用する場合の使用料は、基本使用料の5割に相当する額 4 展示室2を分割して利用する場合の使用料は、基本使用料の5割に相当する額 5 冷暖房を使用した場合は、コミュニティホールにあつては1時間につき2,100円を加算した額 その他の室にあつては基本使用料に6割を加算した額 6 使用時間を超過し、又は繰り上げて使用する場合は、1時間につき当該使用区分に係る基本使用料の3割に相当する額、附属設備、備品等の使用料の3割に相当する額及び冷暖房使用料の3割に相当する額(コミュニティホールの冷暖房使用料については、1時間につき2,100円)の合算額					

備考 基本使用料の土、日、休日とは、土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)で定める休日という。

《文化財保護》

(1) 指定文化財等一覧

① 国指定文化財

種別	名称	所在地	指定年月日
重文	眼鏡橋	高城町	昭和33年11月29日
重文	エーセルテレカラフ	東小路町	平成27年9月4日
天	諫早市城山暖地性樹叢	高城町	昭和26年6月9日
天	多良岳ツクシシャクナゲ群叢	高来町善住寺	昭和26年6月9日
天	小長井のオガタマノキ	小長井町川内	昭和26年6月9日
天	女夫木の大スギ	小川町	昭和50年6月26日

② 国登録有形文化財

種別	名称	所在地	登録年月日
建造物	旧小川家住宅主屋	飯盛町里	平成18年11月29日
工作物	旧小川家住宅石垣	飯盛町里	平成18年11月29日

③ 県指定文化財

種別	名称	所在地	指定年月日
有・工	明珍作うこん威甲冑一領	城見町	昭和39年3月16日
有・歴	諫早家文書	東小路町	令和2年2月13日
有・彫	和銅寺の十一面観世音菩薩立像	高来町法川	昭和48年5月18日
有・彫	大雄寺の十一面観世音菩薩坐像	東小路町	昭和52年5月4日
有・彫	金泉寺の木造不動三尊像	東小路町	平成29年2月16日
有・彫	天祐寺の木造四面菩薩坐像	西小路町	令和3年2月18日
有・彫	天祐寺の木造如意輪観音坐像	西小路町	令和6年3月14日
有・彫	教専寺の木造阿弥陀如来立像	森山町上井牟田	令和7年3月17日
有民	西郷の板碑	西郷町	昭和46年9月14日
有民	慶巖寺の名号石	城見町	昭和56年3月27日
有民	小野の六地藏石幢群六基	小野町 赤崎町	昭和56年3月27日
無民	井崎まっこみ浮立	小長井町井崎	昭和52年5月4日
無民	田結浮立	飯盛町里	昭和55年2月29日
天	富川のかつら	富川町	昭和40年5月31日
天	諫早神社のクス群	宇都町	昭和41年9月30日
天	飯盛町のヘツカニガキ	飯盛町川下	昭和53年8月22日
天	森山西小学校のアバマキ	森山町下井牟田	昭和56年3月27日
史	琴尾山烽火台跡	多良見町佐瀬	昭和46年9月14日
史	川頭遺跡	湯野尾町	昭和50年1月7日
史	諫早家墓所	西小路町	昭和52年5月4日
史	大雄寺の五百羅漢	富川町	昭和52年5月4日
史	長戸鬼塚古墳	小長井町小川原浦	昭和63年3月1日

④ 市指定文化財

種別	名称	所在地	指定年月日
有・建	島原の乱戦没者追悼碑	西小路町	昭和54年4月1日
有・建	愛宕山の肥前鳥居	宇都町	昭和56年8月27日
有・建	愛宕社宝殿と三重塔	宇都町	昭和60年1月31日
有・建	旧早川家住宅	小野島町	平成5年7月23日
有・建	化屋・阿蘇神社の二の鳥居と三の鳥居	多良見町化屋	平成10年7月3日
有・建	十六善神社の一の鳥居と二の鳥居	多良見町西園	平成10年7月3日
有・建	伝「円通寺」跡の石塔群	多良見町中里	平成10年7月3日
有・建	井樋尾「御境石」	多良見町化屋	平成11年7月27日
有・建	化屋名塩浜跡石碑	多良見町化屋	平成11年7月27日
有・建	慶師野の将棋墓	森山町慶師野	平成14年4月3日
有・建	西川内堤改修記念碑	多良見町西川内	平成16年4月26日
有・工	肥前長崎の焼物(現川焼・亀山焼・長与焼・鵬ヶ崎焼・土師野尾焼)	東小路町	平成19年2月1日
有・彫	市杵島神社の馬頭観音	小長井町大搦	昭和52年9月26日
有・彫	金泉寺の千手観音像	高来町善住寺	昭和62年3月2日
有・彫	田結観音寺の聖観世音菩薩像	飯盛町里	平成3年5月21日
有・彫	唐比権現の神像と仏像	森山町唐比西	平成15年8月11日
有・彫	旧莊厳寺木造阿弥陀三尊立像	金谷町	令和元年11月1日
有・絵	江の浦・熊野神社の天井絵と絵馬	飯盛町佐田	昭和63年12月20日
有・絵	諫早家歴代肖像画	西小路町	令和元年11月1日
有・絵	林公琰肖像画	飯盛町平古場	令和元年11月1日
有・石	代官モクどんの石棺	小長井町牧	昭和52年9月26日
有・石	唐比権現石塔群	森山町唐比西	平成15年8月11日
有・歴	唐比のくり舟	東小路町	昭和56年7月14日
有・古	高屋家文書	多良見町西川内	平成12年8月23日

種別	名称	所在地	指定年月日
有・古	円満寺の東照宮様寺法捨五ヶ条御垂範	多良見町舟津	平成15年2月25日
有・古	化屋組記事簿	多良見町木床	平成16年4月26日
有・古	喜々津村漁業組合関係書類	多良見町木床	平成17年2月18日
有・古	多良嶽山観世音菩薩縁起并讃	東小路町	令和元年11月1日
有・古	太良嶽縁起	東小路町	令和元年11月1日
有民	天祐寺の六地藏石幢	西小路町	昭和52年3月5日
有民	田原の六地藏石幢	小長井町田原	昭和52年9月26日
有民	開の辻の六地藏石幢	下大渡野町	昭和56年8月27日
有民	慶巖寺の磨崖仏三十三観音	城見町	昭和59年7月26日
有民	久山の磨崖仏三十三観音	久山町	昭和59年7月26日
有民	水ノ浦のスクイ漁場	高来町水ノ浦地先	昭和62年3月2日
無民	本村浮立と白塔掛打	森山町本村	昭和60年5月31日
天	津水・熊野神社の植物群	津水町	昭和52年3月5日
天	天初院ヒゼンマユミ群生地	高来町船津	昭和62年3月2日
天	向島のノアサガオ群生地	飯盛町向島	平成12年1月12日
天	長里・阿蘇神社のヒゼンマユミ群生地	小長井町大搦	平成17年2月14日
天	池下のアコウ	飯盛町池下	平成3年5月21日
天	伊木力のコミカン	多良見町野川内	平成15年2月25日
名	金比羅山頂	小野町	昭和52年3月5日
名	川下の牛のはなぐり	飯盛町川下	昭和63年12月20日
史	御手水観音の磨崖仏群	御手水町	昭和52年3月5日
史	善納岩陰	湯野尾町	昭和52年3月5日
史	本明石棺群	本明町	昭和52年3月5日
史	大村街道	破籠井町	昭和52年3月5日
史	大峰古墳	小長井町大峰	昭和52年9月26日
史	城山古墳群	小長井町井崎	昭和52年9月26日
史	南平臺石群	小長井町遠竹	昭和52年9月26日
史	岩宗墓石群	小長井町遠竹	昭和52年9月26日
史	若杉春后居宅跡	森山町上井牟田	昭和56年7月14日
史	善神さん古墳	高来町東平原	昭和62年3月2日
史	金泉寺の石垣と墓石群	高来町善住寺	昭和62年3月2日
史	横津の石櫛	飯盛町下釜	昭和63年12月20日
史	飯盛鬼塚古墳	飯盛町後田	平成12年1月12日
史	土橋貞恵墓地	森山町杉谷	平成14年4月3日
史	陣野家墓地	森山町慶師野	平成14年4月3日
史	上井牟田の歴代庄屋の墓	森山町上井牟田	平成14年4月3日
史	柏原古墳群	森山町上井牟田	平成15年8月11日
史	中里虚空蔵さん	多良見町中里	平成17年2月18日
史	千々石清左衛門の墓	多良見町山川内	令和6年12月14日

重文……重要文化財

有・彫……有形文化財・彫刻

有・歴……有形文化財・歴史資料

有民……有形民俗文化財

天……天然記念物

有・建……有形文化財・建造物

有・絵……有形文化財・絵画

有・古……有形文化財・古文書

無民……無形民俗文化財

名……名勝

有・工……有形文化財・工芸品

有・石……有形文化財・石造物

史……史跡

(2) 市内文化財の現況

諫早市内には91件(国指定6件・県指定22件・市指定63件)の指定文化財と2件の国登録有形文化財があります。

① 国指定文化財

○眼鏡橋(重要文化財・高城町)



眼鏡橋は 天保 10年(西暦1839年)に本明川に架設された長さ約50mの石造二連アーチ橋で、日本に現存するものでは最長となります。当時の最先端の技術が用いられて、力学的にも極めて精巧に造られています。

諫早家第12代領主 茂 洪 と領民一同の力を結集して、洪水の多い本明川に永久に流されない橋を架設するという当時の人々の願いにより完成しました。

昭和32年7月25日の諫早大水害後の本明川河川改修計画に伴い、国重要文化財の石橋として第1号に指定され、昭和36年9月に諫早公園内に移築・復元が完了しました。

○エーセルテレカラフ(重要文化財・東小路町)



エーセルテレカラフは、江戸時代に作られた送信機と受信機の2台からなる指字式電信機です。

収納箱には、「エーセルテレカラフ」・「元治 元年」・「中村考」と墨書されています。「元治元年」とは江戸時代末期の1864年、「中村考」とは、幕末に電信機の製作実績が知られる佐賀藩 精錬方 の中村 奇輔らの設計・製作と考えられます。

幕末期の国産電信機として伝存する唯一の事例で、日本における西洋科学技術の受容のありかたを示す貴重な歴史資料です。

○諫早市城山暖地性樹叢(天然記念物・高城町)



諫早市城山暖地性樹叢は、諫早公園にある丘陵全体を覆っている数十種からなる樹叢です。天然記念物の特性を示す植生は、ミズバイ・スダジイ群集とケヤキ・ムクノキ群落があります。ヒゼンマユミ・オガタマノキ・ミサオノキ・ホルトノキなどの巨樹が生育していることも特徴の一つです。

ヒゼンマユミは明治39年に千葉常三郎により諫早公園で発見され、大正2年に牧野富太郎が学会で発表したことにより知られるようになりました。ヒゼンマユミは、ニシキギ科に属する常緑樹でミカンに似た葉を持ち、四稜形の黄色く熟した実をつけます。

○多良岳ツクシシャクナゲ^{つくしまう}群叢
(天然記念物・高来町善住寺)



ツクシシャクナゲ(筑紫石楠花)はツツジ科の常緑小高木です。

4月下旬から5月上旬が花の見ごろとなります。葉は長さ15cmほどの長楕円形で厚みがあり、裏面に茶色の綿毛が密生しており茶色に見えます。

花は枝先に集まり多く咲きます。ロウト状の一つの花の花弁は、他のツツジが5枚であるのに対して、ツクシシャクナゲは7枚です。また、おしべは他のツツジ類が5本もしくは10本であるのに対して、ツクシシャクナゲは14本です。花弁とおしべの数に特徴があります。

○小長井のオガタマノキ(天然記念物・小長井町川内)



オガタマノキはモクレン科の常緑樹で、本州の房総半島以西から、四国・九州及び沖縄地方に自生している暖地性の樹木です。

小長井のオガタマノキは、樹高20m・幹周り 9.1mを誇り、日本一のオガタマノキの巨木と言われています。

春(2月下旬～3月上旬)に葉の付け根に、直径3cmほどの黄白色で中央がやや赤みを帯びたガクと

花びら6枚ずつの花が咲き、わずかに香りを放ちます。秋には、ごつごつとした形の殻をもった実が熟し、さけた部分からは赤い種子がのぞきます。

○女夫木^{めおとぎ}の大スギ(天然記念物・小川町)



女夫木の大スギは、高さ約32m、幹周り9m(目通り)の巨樹です。樹齢・大きさ・樹形・保存の状況が優れており学術上価値が高いため、国の天然記念物に指定されました。

昔は2本の大スギがあったため「女夫木(めおとぎ)」の地名(夫婦木)が生まれたと言われています。

国の天然記念物に指定されているスギは約40本ありますが、この杉の大きさは中程度と言われており、県内では最も大きなものです。

② 国登録有形文化財

○旧小川家住宅 主屋^{しゅおく}(建築物・飯盛町里)



小川法民氏が、大正9年(1920)に小川医院の主屋として建てた木造家屋です。

木造平屋建、^{せん} 瓦葺き、寄棟造りで、建築面積は約225㎡。間取りは、6畳3室、8畳3室、土間、台所などから構成されています。式台があり、部屋ごとに、朝顔、^{わらび} 蕨、波に鶴、松に鶴、竹に虎などの異なる欄間を入れ、床を一間幅よりも広くするなどの高い格式をもっています。

自然石を積み上げた石垣と家屋の堂々とした外観は、古くから地元に親しまれています。

○旧小川家住宅石垣(工作物・飯盛町里)



総延長約69mの自然石を積み上げた石垣で、高さは4.1mから5.1mあります。意匠的にも技術的にも優秀な建造物です。

③ 県指定文化財

○^{みょうちん}明珍 作うこん ^{おとしかつちゅう}威 甲冑 一領(工芸品・城見町)



諫早家に家宝として代々伝来されたもので「菊唐草透 ^{あかかね} 赤銅 ^{うこん} 金物 鬱金 威」とも呼ばれるとおり、菊唐草の金物とうこん色の威糸を用いています。

兜は三十二間 ^{すじかぶと} 筋 兜 で、^{まえたて} 前立 は水晶球の中に ^{きりがね} 截金 で装飾された小さな観音像が納められた宝珠です。胴は前後2枚の鉄製で、正面に火焰を背にした波切り不動明王を、背面には梵字が打ち出されています。

総体的に重量感があり、兜の大きな吹き返し、双龍分が ^{ぞうがん} 象嵌 された ^{おおそで} 大袖、獅子を打ち出した ^{すねあて} 臍当に ^{けくつ} 毛沓、装飾的な ^{ほとけどう} 仏胴 (不動明王の打出し) に ^{あげまき} 総角 などの江戸時代中期に流行した復古調の様相を色濃くもっています。

○諫早家 ^{もんじょ} 文書 (工芸品・東小路町)



諫早家文書は、江戸時代、諫早を領有した諫早家に伝来した日記類1,033点や、記録類390点、絵図類85点からなる古文書群です。

諫早家は龍造寺家晴を祖とする一族で、^{けいちよう} 慶長 12年(1607)に佐賀鍋島藩が成立すると、^{げんろく} 元禄 12年(1699)には親類同格に位置づけられて、佐賀藩政の一翼を担いました。特に、長崎に隣接するという地理的条件を備えていたことから、佐賀本藩とともに

に長崎港警備にも従事していました。

諫早家文書のうち7割近くを占める日記類は、延宝^{えんぼう}4年(1676)から 慶応^{けいおう}4年(1868)までの約200年の記録が、ほぼ途切れることなく残されており、県内でもこれだけ長い期間にわたって藩政日記が伝存している事例は少なく非常に貴重です。日記は佐賀を中心に諫早・長崎など居所を移す諫早領主の動きにあわせて作成されており、加えて諫早領内の様々な出来事も記載されています。

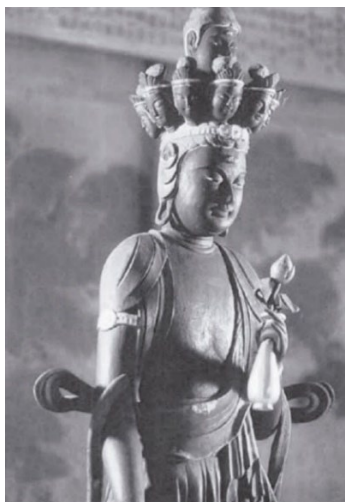
記録類には、諫早家歴代領主の事跡をまとめた年譜や系図のほか、島原の乱に参陣^{しげいのろ}した諫早 茂敬の戦功記録である『有馬記録』などがあります。なかでも、文化^{ぶんか}元年(1804)ロシア使節レザノフが交易を求めて長崎へ来航した一件をまとめた『魯西亜^{ろしあ}渡来^{とらい}録』は、当時の長崎港警備を担当していた佐賀藩の対応記録として貴重です。

絵図類には、諫早領内図のほか、長崎港警備や島原の乱に関する絵図があります。元禄^{げんろく}10年(1697)作成図の写しと考えられている諫早領内図は、道・村境・池・川などがそれぞれ多彩な色で描き分けられ、寺社・城跡・一里塚等の文字情報も書き込まれた非常に細密な地図です。

諫早家文書は、諫早領内の政治・社会・経済・文化などを記録しており、佐賀本藩や長崎とも深いつながりを示す古文書群として貴重です。

○和銅寺の十一面^{かんぽおんぼさつ}観世音菩薩立像

(彫刻・高来町法川)



クス材を使用した一木造りで、60年に一度しか開帳されない秘仏です。室町時代の彫像で、引き締まった容貌や美しい素木仕上げは、県下の十一面観世音像の代表作の一つです。行基^{ぎょうき}菩薩^{ぼさつ}が肥後の橋を7つに切り、これを海に流し、流れ着いた先々で作った「行基七観音」の一つと言われています。

○大雄寺^{だいおうじ}の十一面観世音菩薩坐像(彫刻・東小路町)



高さ32cmの坐像で、眉間に^{びやくごう}白毫をはめ、端麗な仏像で室町期の様式をよく示しています。背面には

福寿山慈現寺本尊

志者為 禅定尼現世安穩力

奉造立十一面観音弑軀

後世善所也殊者講衆各々(此)趣也

干時永正十年癸酉十一月十八日

と墨書きがあり、永^{えい}正^{しょう}10年は西暦1513年にあたります。

この仏像の縁起は、初代龍造寺家晴が豊臣秀吉の朝鮮出兵の際に拝具したものとわれ、代々諫早家の守本尊として高城の頂上に安置してあったものを、元文5年(1740)に第8代茂行が富川を聖地として堂を建立して安置したと言われています。

○金泉寺の木造不動三尊像(彫刻・東小路町)



不動明王立像(像高87.6cm)と制吒迦童子立像(像高53.3cm)は一木造で簡明な彫刻表現や鉦彫り技法から、平安時代後期12世紀の造像と考えられています。矜羯羅童子立像(像高53.1cm)は寄木造であることから、中世に当初の像が失われたために新たに補ったものと考えられ、不動三尊像への信仰が途切れることなく続いていたことを示しています。仏像でありながら神像に通じる特徴を持ち、東日本に多い鉦彫像では最も西にある貴重な事例です。

○天祐寺の木造四面菩薩坐像(彫刻・西小路町)



本像は、江戸時代には四面宮(現在の諫早神社)に安置され、諫早家の尊崇を受けていました。明治初年の神仏分離に際し、神宮寺である莊厳寺が廃止され、四面宮が諫早神社と改称され、諫早菩提寺の天祐寺へ移されました。四面神は『古事記』

国生み神話にみる筑紫島(九州)の一身四面神に由来するといわれ、肥前国を代表する霊山の一つである雲仙岳の神です。その信仰は雲仙岳の山麓各地に広がっており、諫早の四面宮は有力な分社の一つでした。

像高は78.8cm。寄木造。右手の持物は失われており、左手は膝辺りに置いています。結い上げた髻や手首の腕釧などは華やかで、吉祥天や弁財天など仏教における天部の尊像を思わせる品々を身に着けています。右足を立てて座するという初期神像以来の女神の一典型を継承しながら、仏教における天部の女神を中心とした様々な尊像の要素を取り込んでいます。胎内の背面には「日域惣本家／大佛師法印左京孫／張瀬刑部作／寶永二年／乙酉八月吉日」と墨書があり、宝永2年(1705)に造像されたことが分かります。また、仏師の張瀬刑部については不明ながらも、慶派の有力仏師であると考えられます。本像は、製作年代の明らかな江戸時代の基準作で、優作であるにとどまらず、島原半島を中心に広がっていた長崎固有の四面神信仰を背景にする点で大きな意義をもっています。

○天祐寺の木造如意輪観音座像(彫刻・西小路町)



本像は頭上に高く垂髻を結い上げ、六臂で右膝を立てる坐像で、像の高さは53.5cmです。ヒノキとみられる針葉樹材を用いた寄木造で、目は玉眼です。像全体を赤黒く彩色し、着衣部の一部には截

金^{かね} 模様が残っています。このような彩色は、白檀^{びやくだん}の一種である赤^{しやく} 栴檀^{せんだん}を用いた檀像を意識したものです。持物および指先や着衣部の一部は後補でありますが、像本体は全体の表現や上げ底式で像内を密閉する構造から、13世紀前半の慶派^{けいは}の仏師の手になるものと考えられる優秀な作品です。

鎌倉時代以降に、本像のような檀像^{だんぞう}風の截金^{きりかね}が施された像が作られるようになりましたが、本像はその中でも古い作例であり、鎌倉時代の優れた彫刻作品であることに加えて、この時代の彫刻を考えるうえでも重要な鍵となる作品です。

また、天祐寺には本像に先立って令和2年度に県指定有形文化財となった「天祐寺の木造^{しゆんぼさつ} 四面菩薩坐像^{ぼさつざざう}」(宝永2年(1705年)に造像)が所在しますが、截金^{きりかね}を施した檀像^{だんぞう}風の仕上げや立膝の姿勢が共通することから、本像から影響を受けた可能性が指摘できます。中世以降、本像が地域で尊崇されていたことが推測され、このことは諫早市を中心とする県央地域での信仰の在り方や造像の様相を考えるうえでも重要な意義を持ちます。

○教専寺^{きやうせんじ}の木造阿弥陀如来立像(彫刻・森山町)



平安時代後期の特徴を有する木造の阿弥陀如来立像です。教専寺に本尊として伝わり、表面の金泥及び金箔は後補ですが、平安時代後期という時期と仏教文化の中心であった京都の作品に共通する特徴をもつ優れた仏像彫刻です。また、キリシタンによる破壊の歴史をもつ島原半島から県央地域において、良好に保存された平安時代の仏像彫刻として、歴史上及び美術工芸史上、貴重な作品です。

この像を本尊とする教専寺の所在地は、キリシタンに破壊された雲仙山満明寺(真言密教)の末寺のあったところでした。森山町郷土誌では「本山(浄土真宗本願寺派)から寛永年中当時の第三世了伝の時に、本尊木仏並びに当寺号を賜った」とあり、満明寺末寺との関係はない模様ですが、もともと肥前の由緒ある寺にあったものがこの教専寺に訳あって移されたものと考えられます。

○西郷^{にしごう}の板碑^{いたび}(有形民俗文化財・西郷町)



板碑は、供養塔の一つとして鎌倉時代から南北朝時代に掛けて、主に関東地方を中心に多く建立されたものです。建久元年(1190)に祀られたもので、高さ2m、幅1.28mと大きな部類に属し、諫早地方特有の硬質の砂岩板状石を用いてます。碑面上位に胎蔵界大日如来を示す梵字を、下位左右に毘沙門天と不動明王を示す梵字をそれぞれ陰刻してあります。鎌倉文化と諫早地方を支配した船越氏らとの文化交流の跡が窺える資料です。

○慶巖寺の名号石(有形民俗文化財・城見町)



「南無阿弥陀仏」の名号を正面に薬研彫りしてあります。

右意趣者為法界衆生平等利益也

貞和七年辛卯四月十三日一結敬白

と陰刻し、下方に27~28名の名を刻んでいます。

貞和7年(1351)は観応2年に当たります。足利直冬は観応の年号は使わなかったとされ、直冬の勢力下もしくは支持勢力がこの地にあったことを示しています。

○小野の六地藏 石幢 群六基

(有形民俗文化財・小野町・赤崎町)



小野・赤崎町に6基あります。佐賀形重制と言われる形式で、上から笠石、龕(地藏菩薩を刻んだ部分)、中台、竿からなります。

地藏菩薩は、釈迦入滅後、弥勒仏が出現するまでの無仏期に、六道の衆生を救済するとされ、末法思想の流布とともに広く信仰されるようになりました。天文期(1532~1555年)に、逆修(生前に成仏を願うこと)を目的に建立されたと思われる、戦乱の世であった当時の世相を如実に示しています。

○井崎 まっこみ浮立(無形民俗文化財・小長井町井崎)



旧諫早領内に現存する大浮立では、一番よく整っている陣立て浮立です。特にこの浮立の特色は渦状に円を描く「ビナ尻巻込み」といわれる形態にあり、これが「まっこみ浮立」の名称の所以になっています。

○田結 浮立(無形民俗文化財・飯盛町里)



県下に数多い総合浮立の中でも最も多彩な種類を持つ芸能で、垣踊り、蛇踊り、月の輪、道具、掛打ち、狐踊り、銭太鼓、雉刀踊りなど、室町時代末期の面影を残す垣踊りから、江戸時代中期の笛の曲をもつ行列の芸まで、組み合わせられて伝承されています。

○富川のかつら(天然記念物・富川町)



根回り8～9m、高さ約10mと県下最大級のもので、幹は根元から多数に分かれており、地元では「千本木」と呼ばれ親しまれています。カツラは元来、寒冷地で白樺などと共に自生し、県下では多良山系だけに分布しています。

○諫早神社のクス群(天然記念物・宇都町)



四面宮^{しめんぐう}として古くから人々に親しまれてきた神社で、境内の樹木のうち6本が指定を受けています。拝殿前のクスが特に巨大で御神木として崇拝されており、目通り幹周り7.8m、高さ25mほどです。ほかの5本は幹周り4～7m、高さ30mほどです。

○飯盛町のヘツカニガキ(天然記念物・飯盛町川下)



アカネ科の南方系の落葉高木で、九州と四国に分布します。九州西岸では長崎付近が北限です。鹿児島県の^{へつか}辺塚で発見され、枝や葉に苦味があることから「^{へつかにがき}辺塚苦木」の名が付けられました。高さは10mで、北限地にこのような巨樹があることは珍しく、鹿児島でもこれほどの巨樹はまれといわれています。

○森山西小学校のアベマキ(天然記念物・森山町下井牟田)



高さ17m。アベマキはブナ科の落葉樹で葉や果実はクヌギに似ており、大陸系の植物ですが、対馬や中国山地にも多く、樹皮からはコルクが採取されることから「コルクの木」とも言われます。明治30年(1897)に台湾から持ち帰られ移植されたものです。

〇琴尾山 烽火台 跡(史跡・多良見町佐瀬)



大村郷村記に「琴の緒嶽の中腹に^{のろしかま} 狼煙 竈 あり、長崎異変の節、長崎の烽火山よりうけつぎ平戸領錐崎へ通報する定である。」との記述があります。この地は地理的に長崎・大村・平戸を結ぶ中継点として最適の地であったと考えられます。文化 6年(1809)以降は烽火台を廃し飛脚をもって通報することになりました。火入れ口は3カ所あり、原形をよく留めているため、貴重な史跡です。

〇川頭 遺跡(史跡・湯野尾町)



多良山塊中腹の標高360mの高所に立地し、昭和49年に発掘調査が行われ、縄文時代早期末から前期及び中期の遺跡として注目されます。縄文時代早期末から前期の遺構は、直径4mの円形に配置された柱跡3群でこれは住居跡と思われます。中期の遺構は土坑が3基確認され、^{あとか}阿 高 式土器が副葬されており、土坑墓と考えられます。この時期の住居跡・土坑墓の検出例は九州でもわずかであるため、貴重な史跡です。

〇諫早家墓所(史跡・西小路町)



天祐寺境内にあり、諫早領主歴代の墓18基、正・側室や子息の墓25基、家臣の墓30基、一族の墓4基、雑塔56基、石碑5基、六地藏石幢4基、石室2基、住職の墓42基、石灯籠177基、^{みろく}弥勒 四十九院形式の石柵27基があります。墓石は異形五輪塔とも称すべきもので、火輪の四隅が突出し ^{ほうきょういんとう}宝篋印塔 との折衷的様相の形をしています。領主の墓碑を囲む石柵は弥勒四十九院造りと呼ばれる珍しい形式で、江戸時代の墓地形式をよく留めています。

〇大雄寺の 五百 羅漢(史跡・富川町)



^{げんろく}元禄 12年(1699)、本明川が大洪水を起こし、死者487名を出し、翌13年には逆に大干ばつで田畑は荒廃し、領民の疲労・困窮は極限に達しました。このことに心痛した第7代領主茂晴は、水源の地・富川溪谷の岸壁に、領内の息災と天下の太平を祈願し、また水難者の供養のために五百羅漢を刻んだと伝えられます。竣工は ^{ほうえい}宝 永 6年(1709)で、510体の羅漢像と3体の如来像が刻まれています。長崎、大村、島原などの住民から寄進を受け、浄財によって工事が行われました。自然石に176人の寄進者名と

仏師 神代村 常春寺僧 志元

石工 矢上村 鎌山甚兵衛

同 田結村 森与四衛門 同氏軍平等

敬彫刻

五百大阿羅漢

宝永六己丑二月春彼岸日

と刻んであります。

○長戸鬼塚古墳(史跡・小長井町小川原浦)



直径15m、高さ5mの円墳。石室は典型的な複室構造の横穴式石室で6世紀後半の特徴をもっています。

石室内に線刻があり、鯨や十数本の^{かい}櫓を備えた舟が描かれています。本県には明確な装飾古墳がなく、線刻画をもつ古墳5基が知られていますが、この中でも保存状態のよい古墳として貴重です。

《諫早市美術・歴史館》

諫早市の貴重な歴史文化遺産の展示及び保存継承を行うことにより、市民や来訪者が郷土「諫早」を理解し、親しみ、愛着を育てる場として設置しています。また、長崎県美術展覧会をはじめ、市民作品の発表の場として文化芸術活動の振興を図ります。

(1) 開設日 平成26年3月1日

(2) 施設概要

○位置

東小路町2番33号

TEL:24-6611 FAX:24-6633

○規模

鉄骨造3階建 延床面積:3,292.26㎡

○機能

美術館、博物館

常設展示室(400㎡) 駐車場:30台

○付帯施設

ホール、企画展示室(1)~(3)、研修室(1)~(3)、和室研修室、展望テラス

(3) 収蔵資料 約37,000点

(4) 開館時間等

開館時間 午前10時~午後6時

休館日 毎週火曜日(祝日の場合は翌日)、12月29日~1月3日、特別整理期間

(5) 観覧料(常設展示室)

区分	観覧料(1人1回につき)	
	個人	団体(15人以上)
高校生・大学生・一般	200円	160円
小学生・中学生	100円	80円

・市内在住または市内在学の小・中学生は無料

・教育を目的として、小・中・高・特別支援学校生などが利用する場合は、引率の教員を含め無料

・障害者手帳等の提示者及び付添人1名は無料

(6) 使用料

施設名		使用料(1時間当たり)
ホール		1,040円
研修室	和室	310円
	(1)	200円
	(2)	200円
	(3)	310円
企画展示室	(1)	520円
	(2)	310円
	(3)	310円

・使用料の額を計算する基礎となる専用時間が1時間未満であるとき、又は専用時間に1時間未満の端数があるときは、その時間又は端数時間は1時間として使用料の額を計算する。

(7) 入館者数

	入館者数
R4年度	28,811人
R5年度	33,984人
R6年度	22,945人

※開館以降の総数 311,022人(令和7年3月末現在)

(8) 主な事業

○企画展等

- ・諫早の美術家展(令和6年4月28日～5月26日)
- ・諫早大水害展(令和6年6月29日～8月18日)
- ・廣津雲仙展(令和6年9月22日～30日)
- ・諫早美術・歴史館コレクション展
(令和6年12月14日～令和7年1月13日)
- ・野口彌太郎作品展(令和7年3月1日～30日)

○講座

- ・春のワークショップ「知的好奇心を呼び覚ませ！」
(令和6年5月3日～5日)
- ・夏のワークショップ(夏休みの自由工作)
(令和6年8月3日、8月17日)
- ・秋のワークショップ(令和6年11月16日)
- ・歴史講座 2回
- ・民俗講座 2回
- ・史跡見学 3回

《スポーツ振興》

スポーツを通じた市民の健康づくりと市民交流を推進するとともに、スポーツによる交流人口の拡大を図ります。

(1) 各種スポーツ大会・スポーツ教室

① 日中友好交流都市中学生卓球交歓大会

友好交流都市である諫早市及び中国漳州市の中学生が合同でチームを組み、卓球交歓大会に参加することで、競技力向上を図るとともに両市の交流推進を目的とする大会

会場:中国 北京市

開催時期:令和7年8月3日～8日

② いさはやミニ・トライアスロン・リレー大会

ガタスキーと中央干拓地走行を目玉とし、通常は1人で行うトライアスロンを6人のリレー形式で行う珍しい大会

参加対象:中学生以上で編成されたチーム

開催時期:9月上旬

③ いさはやまちなかロードレース大会

市街地走行を目玉とするロードレース大会

参加対象:小学生以上

開催時期:10月中旬

④ ドリーム・ベースボール(市制施行20周年記念事業)

元プロ野球選手による教室や交流試合を行い、野球の普及振興を通じて、地域の活性化を図ります。

参加対象:小・中学生、一般

会場:スポーツパークいさはや「たちばなしんきんフィールド・オブ・ドリームス」

開催時期:令和7年11月16日

⑤ 諫早市駅伝競走大会

参加対象:小・中・高校生、一般の各チーム

開催時期:12月上旬

⑥ 諫早市長杯争奪中学校スポーツ選手権大会

競技種目:軟式野球、卓球、剣道、柔道、バドミントン、ソフトテニス、バスケットボール、バレーボール

開催時期:4月、5月、11月

⑦ 諫早市民生涯スポーツ大会

種目:インディアカ、ペタンク、パークゴルフ、クッブなど10種目程度

開催時期:11月上旬

⑧ 喜楽なスポーツ教室

スポーツ推進委員が、スポーツの楽しみや喜びを体験できる機会を地域ごとに提供するためスポーツ教室を開催

種目:ミニソフトバレー、グラウンドゴルフ、バウンドテニス、ボッチャなど

開催時期:6月～2月

(2) プロスポーツ連携・交流事業

- ① プロや実業団の試合観戦の機会を子どもたちに提供
- ② 市に縁のあるプロ選手等を講師とし、子どもたちを対象とした教室を開催

(3) スポーツ意欲の高揚と競技力の向上

- ① 激励事業
九州、全国、国際大会に出場する小・中学生、高校生および一般に対する激励金の交付
- ② 諫早市スポーツ協会支援
市民スポーツの普及・振興のための諸事業を実施する諫早市スポーツ協会を支援
- ③ 競技力向上対策
国体や県体などで優秀な成績を収め、今後の活躍が期待できる選手などの強化指定(個人指定、団体指定など)

(4) 体育関係団体との連携強化 (R7.5.31時点)

- 諫早市スポーツ協会 34競技団体2組織
- 諫早市スポーツ推進委員協議会 会員数:80名
- 諫早市レクリエーション協会 加盟団体:14

(5) 体育施設の適正な維持管理

スポーツ施設の整備、充実を図り、市民が安全、安心、快適にスポーツを楽しむ環境づくりを進めます。

(6) 本明川水上競技場の活用促進

国営諫早湾干拓事業により創出された本明川下

流域の豊かな自然環境を活かし、交流人口の拡大による地域振興を図ります。

○本明川水上競技場の特徴

- ・日本ローイング協会B級2,000m公認コース
- ・約5,000mの直線距離
- ・8コース相当の川幅
- ・穏やかな淡水水域

○本明川スポーツフェスタ

開催時期:11月中旬

(7) いさはやスポーツコミッションの設立

スポーツによる諫早市の魅力の創出や情報発信により、交流人口の拡大と地域活性化を図る組織

○関係者をつなぐハブ機能や事務局を総合窓口としたワンストップ機能

○アウトター事業(スポーツ大会や合宿の誘致など)

○インナー事業(市民向けイベント開催など)

(8) フルマラソンの開催

諫早市及び雲仙市をコースとした長崎県初となる日本陸上競技連盟公認フルマラソン大会の開催を目指します。

○開催日:令和9年1月(目標)

○主催:諫早市、雲仙市、(一財)長崎陸上競技協会

○共催:長崎放送(株)、(株)テレビ長崎、(株)エフエム長崎

○企画・運営:長崎ミュージックフェスマラソン実行委員会

○特別協力:(一財)東京マラソン財団

◎体育施設の概要

施設名・位置	規模	機能	付帯施設等	R5年度 利用人数(人)	R6年度 利用人数(人)
中央体育館 内村記念アリーナ 小船越町1048番地2	鉄筋コンクリート造 地上3階地下1階 メインアリーナ1,900㎡ サブアリーナ950㎡	メインアリーナ バスケットボール2面 バレーボール2面 バドミントン10面 ハンドボール1面 卓球台36台 サブアリーナ バスケットボール1面 バレーボール2面 バドミントン4面 卓球台13台	会議・研修室4 選手控室2 更衣室2 シャワー室2 医務室1 授乳室1 給湯室1 放送室1 事務室1 観覧席1,448 駐車台数122台	102,348	109,322

施設名・位置	規模	機能	付帯施設等	R5年度 利用人数(人)	R6年度 利用人数(人)
諫早市体育館 東小路町2番38号	鉄筋コンクリート造 4階建 アリーナ1,086㎡	バスケットボール2面 バレーボール2面 バドミントン6面 卓球台18台	ステージ1 固定客席200 控室1～6 練習室1 更衣室2 駐車場台数32台	39,572	50,679
小野体育館 黒崎町170番地3	鉄筋コンクリート造 3階建 メインアリーナ1,512㎡ サブアリーナ462㎡	メインアリーナ バスケットボール2面 バレーボール2面 バドミントン10面 卓球台27台 柔道4面、剣道4面 サブアリーナ バスケットボール1面 バレーボール1面 バドミントン3面 卓球台6台 柔道2面、剣道2面	会議室3 放送室1 給湯室1 救護室1 事務室1 シャワー室2 観覧席1,200 駐車場台数439台	67,572	85,185
多良見体育センター 多良見町化屋1808番地1	鉄筋コンクリート造 3階建 体育室1,050㎡ 小体育室190㎡ トレーニング室68㎡ ステージ162㎡	体育室 バスケットボール2面 バレーボール2面 テニス1面 バドミントン6面 卓球台18台 小体育室 柔道1面、剣道1面	トレーニング室1 会議室4 事務室1 保健室1 研修室1 卓球練習場3台 更衣室2 放送室1 固定客席200 駐車場台数62台	67,664	74,255
森山スポーツ交流館 森山町下井牟田1145番地	鉄筋コンクリート造 鉄骨造2階建 アリーナ1,228㎡ トレーニング室172㎡ ダンスジム102㎡ 幼児室57㎡ 会議室34㎡ 和室10㎡	バスケットボール1面 バレーボール2面 バドミントン6面 卓球台16台 温水プール 25m×2コース 20m×2コース	トレーニング室1 ダンス室1 会議室1 幼児室1 和室1 固定客席387 駐車場台数169台 (森山武道館含む)	91,373	105,662
飯盛体育館 飯盛町平古場266番地	鉄筋コンクリート造 2階建 屋根鉄骨 アリーナ1,204.5㎡ サブアリーナ367.5㎡	メインアリーナ バスケットボール2面 バレーボール2面 バドミントン6面 サブアリーナ バレーボール1面 バドミントン1面 卓球台4台	トレーニング室1 ミーティング室1 放送室1 更衣室2 シャワー室2 保健室1 観覧席347 駐車場台数300台 (飯盛グラウンド、テニスコート、相撲場含む)	39,934	42,891
とどろき体育館 高来町汲水388番地	鉄筋コンクリート造 2階建 アリーナ1,309㎡ サブアリーナ(別棟)580㎡	メインアリーナ バスケットボール2面 バレーボール2面 バドミントン8面 ソフトテニス2面 卓球台8台 サブアリーナ バスケットボール1面 バレーボール1面 バドミントン2面 ソフトテニス1面	研修室3 更衣室4 (身障者用1含む) シャワー室各4 (身障者用1含む) 観覧席300 駐車場台数158台	33,965	32,521

施設名・位置	規模	機能	付帯施設等	R5年度 利用人数(人)	R6年度 利用人数(人)
小長井田原体育館 小長井町小川原浦2008番地20	1階延床面積700㎡ 2階延床面積132㎡	バスケットボール1面 バレーボール1面 バドミントン2面	放送室1 更衣室2	1,826	2,180
諫早市武道館 東小路町2番38号	柔道場183㎡ 剣道場183㎡ 空手道場190.2㎡	柔道1面 剣道1面 空手道1面	駐車台数36台	23,868	20,411
森山武道館 森山町下井牟田1157番地	面積997.2㎡	柔道1面 剣道1面	放送室1 更衣室2 シャワー室2 2階客席200	7,435	8,789
飯盛小島武道場 飯盛町開1293番地1	面積225.31㎡	柔道1面	駐車台数20台	2,168	2,651
高来武道館 高来町三部壺559番地1	面積682㎡	柔道2面 剣道2面	更衣室(兼シャワー室)4 会議室(兼放送室)1	3,076	6,100
スポーツパークいさはや 久山町2014番地16	総面積10.8ha		駐車台数430台 外周道路1,153m		
第1野球場	面積21,696㎡	両翼100m 中堅122m	本部室1 審判控室1 競技役員室2 放送記録室1 会議室1 更衣室2 観客席3,700	31,705	26,511
第2野球場	面積19,000㎡	両翼100m 中堅122m	本部室1	11,685	10,343
サッカー広場	面積8,970㎡	サッカーラグビーコート1面 ハーフコート2面 フットサルコート4面	夜間照明設備 (LED8灯×4基)	66,332	71,002
スケートボード場	面積750㎡	セクション6基		2,332	1,811
小野島グラウンド 小野島町2233番地	面積29,367.46㎡	ソフトボール4面 サッカー1面	駐車台数136台	16,674	13,767
多良見西部グラウンド 多良見町舟津1898番地	面積11,000㎡	野球1面 ソフトボール2面 サッカー1面	夜間照明設備(水銀灯ランプ72灯) 駐車台数30台	4,615	7,147
森山グラウンド 森山町本村1300番地	面積12,125㎡ (森山相撲場含む)	ソフトボール2面 ゲートボール3面	温水シャワー室1 夜間照明設備(水銀灯8灯×6基、12灯×4基) 駐車台数30台 (森山テニス場、相撲場含む)	3,237	2,252
森山餅田山グラウンド 森山町唐比北691番地	面積12,177㎡	野球1面	駐車台数178台	3,561	3,961
飯盛グラウンド 飯盛町平古場266番地	面積20,600㎡	野球1面 ソフトボール4面	放送室1 夜間照明設備(水銀灯10基)	12,835	11,161
高来総合運動公園 高来町小船津904番地4	面積27,751㎡	野球2面 ソフトボール2面 サッカー1面	夜間照明設備(水銀灯2灯×6基、10灯×4基)	22,938	21,657
高来城ノ下グラウンド 高来町水ノ浦367番地10	面積3,945㎡	ソフトボール1面		350	307

施設名・位置	規模	機能	付帯施設等	R5年度 利用人数(人)	R6年度 利用人数(人)
高来西グラウンド 高来町峰97番地	面積6,084㎡	ソフトボール1面	駐車台数40台	2,474	3,475
小長井グラウンド 小長井町小川原浦958番地8	面積12,150㎡	野球1面 ソフトボール2面	夜間照明設備(水銀灯8灯×11基)	12,016	11,390
小長井長里グラウンド 小長井町大峰980番地77	面積8,206㎡	ソフトボール2面	夜間照明設備(水銀灯8灯×4基)	329	5,003
小長井田原グラウンド 小長井町田原本裏木1595番地2	面積7,000㎡	ソフトボール1面	管理棟1 夜間照明設備(水銀灯4灯×4基)	682	1,440
諫早市弓道場 西小路町774番地1	面積1,805.33㎡ 射場138㎡ 的場39.6㎡	6人立ち、近的28m		6,715	8,463
諫早市ゲートボール場 馬渡町2番地	面積2,886.38㎡	屋根付きコート2面 屋外コート3面		3,468	2,599
森山テニス場 森山町本村1300番地	面積3,500㎡	テニス3面(カラークレートコート)	夜間照明設備(水銀灯18灯)	999	999
飯盛テニス場 飯盛町平古場266番地	面積3,030㎡	テニス4面	夜間照明設備(水銀灯26灯)	2,299	1,529
小長井テニス場 小長井町小川原浦958番地8	面積2,553㎡	テニス4面	夜間照明設備(水銀灯14灯)	1,564	1,486
森山相撲場 森山町本村1300番地	面積262㎡	相撲場1		0	0
飯盛相撲場 飯盛町平古場266番地	面積625㎡	相撲場1		150	0
小長井相撲場 小長井町小川原浦958番地8	面積535㎡	相撲場1		33	78
小長井プール 小長井町小川原浦958番地15	面積948㎡	大プール525㎡ 25m×8コース 中プール313㎡ 15m×7コース 小プール110㎡		1,937	1,607
諫早市サッカー場 多良見町木床2001番地	面積27,283㎡	天然芝コート1面 人工芝ハーフコート1面	人工芝コート 夜間照明設備(LED6灯×4基)	34,822	36,645

◎体育施設料金表

名称	施設等の区分	使用区分	単位	使用料 (1時間につき)	冷暖房使用料 (1時間につき)	照明使用料 (1時間につき)
中央体育館	メインアリーナ	全部使用	全面	2,100円	8,380円	
		一部使用	バスケットボールコート	1面	1,050円	
			バレーボールコート	1面	1,050円	
			バドミントンコート	1面	310円	
			卓球台	1台	210円	
	サブアリーナ	全部使用	全面	1,050円	4,190円	
		一部使用	バレーボールコート	1面	630円	
			バドミントンコート	1面	310円	
			卓球台	1台	210円	
	会議・研修室1			260円		
	会議・研修室2			260円		
	会議・研修室3			260円		
	会議・研修室4			260円		
諫早市体育館	アリーナ	選手控室1		260円		
		選手控室2		260円		
		全部使用	全面	1,050円		
		一部使用	バスケットボールコート	1面	420円	
			バレーボールコート	1面	420円	
			バドミントンコート	1面	210円	
			卓球台	1台	170円	

名称	施設等の区分	使用区分	単位	使用料 (1時間につき)	冷暖房使用料 (1時間につき)	照明使用料 (1時間につき)
	控室1			210円		
	控室2			210円		
	控室3			420円		
	控室4			110円		
	控室5			110円		
	控室6			150円		
	練習室			520円		
小野体育館	メインアリーナ	全部使用	全面	1,570円	4,780円	
		一部使用	バスケットボールコート	1面	630円	
			バレーボールコート	1面	630円	
			バドミントンコート	1面	210円	
			卓球台	1台	170円	
	サブアリーナ	全部使用	全面	420円	1,030円	
		一部使用	バドミントンコート	1面	210円	
			卓球台	1台	170円	
			柔道	1面	210円	
			剣道	1面	210円	
	会議室1			260円		
	会議室2			160円		
	会議室3			110円		
多良見体育センター	体育室	全部使用	全面	1,570円	4,190円	
		一部使用	バスケットボールコート	1面	630円	
			バレーボールコート	1面	630円	
			バドミントンコート	1面	210円	
			卓球台	1台	170円	
	小体育室	全部使用	全面	210円	520円	
	会議室			160円	160円	
	研修室(和室)			110円	50円	
	トレーニング室			110円	無料	
	ステージ			無料		
	設備・備品	ステージ照明設備				無料
森山スポーツ交流館	アリーナ	全部使用	全面	1,570円	4,190円	
		一部使用	バスケットボールコート	1面	630円	
			バレーボールコート	1面	630円	
			バドミントンコート	1面	210円	
			卓球台	1台	170円	
	設備	舞台照明設備			無料	
		放送設備			無料	
	ダンス室			520円	210円	
	トレーニング室			160円		
	幼児室			310円	210円	
	会議室			310円	210円	
	和室			310円	210円	
	プール	高校生以上		160円		
		中学生		110円		
		小学生以下		50円		
飯盛体育館	メインアリーナ	全部使用	全面	1,570円		
		一部使用	バスケットボールコート	1面	630円	
			バレーボールコート	1面	630円	
			ドッジボールコート	1面	630円	
			バドミントンコート	1面	210円	
			ミニバレーボールコート	1面	110円	
			インディアカコート	1面	110円	
			卓球台	1台	170円	
	サブアリーナ	全部使用	全面	310円		
	ミーティング室			210円		
	トレーニング室			110円		
	シャワー室			無料		
とどろき体育館	メインアリーナ	全部使用	全面	1,570円		

名称	施設等の区分	使用区分		単位	使用料 (1時間につき)	冷暖房使用料 (1時間につき)	照明使用料 (1時間につき)
		一部使用	バスケットボールコート	1面	630円		
			バレーボールコート	1面	630円		
			バドミントンコート	1面	210円		
			ソフトテニスコート	1面	630円		
			卓球台	1台	170円		
	サブアリーナ	全部使用		全面	420円		
		一部使用	バドミントンコート	1面	210円		
とどろき体育館	研修室1				210円		
	研修室2				210円		
	研修室3				210円		
小長井田原体育館	体育室				110円		
諫早市武道館	柔道場				190円		
	剣道場				190円		
	空手道場				190円		
森山武道館	武道館	全部使用		全面	1,050円		
	柔道場			1面	210円		
	剣道場			1面	210円		
飯盛小島武道場					110円		
高来武道館	柔道場				210円		
	剣道場				210円		
スポーツパーク いさはや							
第1野球場	野球場	一般			1,630円		
		高校生以下			1,140円		
	本部室				無料	110円	
	審判員控室				無料	110円	
	競技役員室1				無料	110円	
	競技役員室2				無料	110円	
	放送記録室				無料	110円	
	会議室				260円		
	選手控室1				260円		
	選手控室2				260円		
	設備・備品	スコアボード			410円		
		ピッチングマシン(硬式用)	1台		310円		
		バット・バットケース	1台		210円		
	第2野球場	一般			820円		
		高校生以下			570円		
	本部室				無料	110円	
サッカー広場		フルコート		1面	1,630円		1基510円
		ハーフコート		1面	820円		
		フットサルコート		1面	410円		
スケートボード場		全部使用			510円		
		個人使用	一般	1人	1回110円		
			高校生以下	1人	1回50円		
小野島グラウンド	ソフトボール場			1面	310円		
	サッカー場			1面	630円		
多良見西部グラウンド	ソフトボール場			1面	310円		1,570円
森山グラウンド	ソフトボール場			1面	310円		1,570円
	ゲートボール場				無料		
森山餅田山グラウンド	ソフトボール場			1面	310円		
飯盛グラウンド	野球場				310円		2,100円
	ソフトボール場			1面	310円		1,570円
	サッカー場			1面	630円		1,570円
高来総合運動公園	野球場				310円		普通照明 210円
	ソフトボール場			1面	310円		水銀灯照明 1,570円
	サッカー場			1面	630円		
高来城ノ下グラウンド					無料		
高来西グラウンド					無料		
小長井グラウンド	野球場				310円		1,570円
	ソフトボール場			1面	310円		1,570円

名称	施設等の区分	使用区分		単位	使用料 (1時間につき)	冷暖房使用料 (1時間につき)	照明使用料 (1時間につき)
小長井長里グラウンド	ソフトボール場			1面	310 円		1,570円
小長井田原グラウンド					無料		
諫早市弓道場	弓道場	全部使用			210円		
		個人使用	一般	1人	50円		
			高校生以下	1人	30円		
諫早市ゲートボール場	屋根付きゲートボール場			1面	110円		
諫早市ゲートボール場	屋根なしゲートボール場				無料		
森山テニス場	テニス場			1面	310円		210円
飯盛テニス場	テニス場			1面	310円		210円
	放送設備				無料		
小長井テニス場	テニス場			1面	310円		210円
森山相撲場					無料		
飯盛相撲場					無料		
小長井相撲場					無料		
小長井プール					無料		
諫早市サッカー場	天然芝コート			全面	2,440円		
	人工芝コート			全面	820円		1,020円
				半面	410円		510円
備考							
1 入場料その他これに類するものを徴収して使用する場合(営利を目的として使用する場合を除く。)の使用料の額は、所定の使用料(冷暖房使用料及び照明使用料を除く。)の2倍の額とする。							
2 営利を目的として使用する場合の使用料の額は、所定の使用料(冷暖房使用料及び照明使用料を除く。)の4倍の額とする。							
3 諫早市森山スポーツ交流館のトレーニング室及びプール(高校生以上)の回数券は、1,600円、1月定期券は、3,200円とする。							
4 諫早市飯盛体育館のトレーニング室の回数券は、1,100円とする。							
5 施設の使用料の額を算出する基礎となる使用時間が1時間未満であるとき、又は使用時間に1時間未満の端数があるときは、その時間又は端数時間は1時間として使用料の額を計算する。							

《物価高騰対策》

(1) まちなか魅力拡大支援事業

エネルギー・食料品価格高騰の影響を受けた生活者や事業者に対して、販促活動等による事業継続、魅力拡大及び活性化を目的に、商店街等の団体が行うプレミアム付商品券発行事業に対して支援を行う事業です。

《事業期間》

令和5年度～令和6年度

《事業内容》

対象事業者	(1) 諫早商工会議所又は諫早市商工会 (2) 市内の事業者で設立した商店街組合、事業協同組合又は協業組合等 (3) 観光振興や広域的な地域経済の活性化を目的に設立された市内の団体等 (4) 5以上の事業者等で組織された団体(当該団体を構成する事業者の半数が市内の事業者であるものに限る。) (5) 市内に本店を有し、かつ、市内で4以上の支店を運営する事業者 (6) 市内に本社又は本店を有し、かつ、市内で5以上の店舗を運営する事業者
補助対象期間	令和6年2月1日～令和7年2月14日

対象経費	<p>【商品券に付与するプレミアム相当額】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上限5,000万円／件 ※補助率10／10 ※プレミアム率は30％以内 <p>【事務費・広告経費等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上限1,000万円／件 ※商品券販売総額のうちプレミアム相当額の50パーセント以内
------	---

《支給実績》

支給件数	支給額
11件	264,248千円

(2) いさはや地域振興商品券事業

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響により市民の家計への負担が大きく生じていることから、プレミアム付き商品券を発行することによって、消費者の負担軽減及び消費拡大により地域経済の活性化を図る事業です。

《事業期間》

令和6年度～令和7年度

《事業内容》

発行総額	14億4千万円 ※プレミアム分2.4億円
販売・配布単位	1冊6千円分の商品券を5千円で販売 ※プレミアム率20％
1冊の内容	500円券×12枚 ※市内本社専用券4枚、共通券8枚
購入対象者	令和7年4月30日現在、諫早市に住民票がある方
購入申込期限	令和7年5月19日～6月6日
販売期間	令和7年7月16日～10月31日
使用可能店舗	諫早市内で事業を営む店舗(事業所) ※実行委員会で公募
使用可能期間	令和7年7月16日～10月31日